



400 億円

大型ハコモノ(MICE施設)建設中止を求める市民の会」発足

住民パワーでストップを！署名活動がスタートしました

8月1日、寺内大介弁護士や高林秀明熊本学園大学教授等の呼びかけにより、「大型ハコモノ(MICE)建設中止を求める市民の会」の発足集会が開催されました。中島熙八郎熊本県立大学名誉教授の記念講演と上野美恵子議員からは、市民合意がないまま進められている「MICEの6つの問題点」を報告。

元島弘明事務局長から活動方針が提起され、活発な議論が交わられました。賛同者を広く募り、学習会や署名に取り組み、世論の力で、MICE建設を中止させることを申し合わせ、8月7日には、中心市街地で、第1回の街頭署名活動が行われました。

MICE建設は「環境の時代」に逆行 ～歴史を守り活用することこそが真のまちづくり～

中島熙八郎熊本県立大学名誉教授が記念講演

中島名誉教授は、「桜町の再開発は、一民間企業である九州産交・HISの施設・設備の更新と床面積増による利益を狙ったもの」と指摘。

「市行政が市民本位に企画したものではなく、十数年前の古臭い『経済優先』型の浅薄なものであり、同時に環境の時代に逆行する。歴史的な街、建造物に手を入れ、新しい命を吹き込み、さらに次の時代へと引き継ぐという活用こそが真のまちづくりと言える。

まちづくりの主人公は市民であり、行

発会集会での中島先生の講演会



政は、その手伝いをするという認識が自治体の長に強く求められる。今度の市長選挙は、新しい首長を選ぶチャンス。熊本のまちを私たちの手に取り戻そう」と結ばれました。

市民合意のない MICE(大会議場)6つの問題点

- ①熊本市は、2割の床取得なのに、費用は8割・400億円を支出
- ②九州産交・HISの資産形成に“脱法”補助金107億円
- ③九州産交・HISは、「再開発」で大儲け
- ④過大な利用見通による建設後20年間・25億円(借金返済と維持費)の支出
- ⑤県民百貨店・テナントを追い出し、1400人の雇用を奪う
- ⑥再開発ビルは、海拔74mの高さとなり、熊本市景観条例に違反

【控室から】
それぞれの夏休み

上野 みえこ

東京で暮らす娘が夏休みで帰郷してきました。家族での食事に、嬉しそうに箸を運んでいます。一人暮らしを始めた娘にとって、故郷の家庭料理は普段味わうことのできない美味しさだと思えます。

嫁と孫は、田舎にしばしの里帰り。山あり、川あり、自然がいっぱいの素晴らしい環境での生活を楽しんでいるのではないだろうか。

長女にとって、8月は繁忙期、お盆は仕事に没頭しているようです。次男は、就活の準備に忙しく、予定いっぱい夏休みのようです。

家族が、減ったり増えたりしながらも、にぎやかな夏休みです。猛暑が続いています。心も体も少し休めて、夏を乗り切り、元気に9月議会を迎えたいと思います。

今後は、11月の市長選挙、来年4月の一斉地方選挙と、市政が大きく問われます。400億円のMICE整備のムダづかいを中止させ、暮らしや福祉・教育が充実するよう頑張ってくださいと思います。

みなさまも、どうかお元気で！

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか
熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 912
2014年8月10日号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

市民の視点に立った「行財政改革」で、市民サービスの向上を

民間委託推進や市民負担増に市民の理解は得られません

「事務事業外部評価会議」(事業仕訳)が行われます

「信頼できる市政と感ずる市民の割合」は 38.4%

市民の視点で議論されるか、傍聴においでください!

7月31日に開かれた行財政改革推進委員会に、「第4次行財政改革計画」の結果が報告されました。

げられ、市立図書館(森都心図書館・城南図書館)・はあもにいや健軍文化ホールなどへの指定管理者制度導入、市営バス路線の民間移譲など、民間委託が強硬にすすめられました。動植物園駐車場や市営駐輪場の有料化など、市民負担増も行われました。

目標値「信頼できる市政と感ずる市民の割合」「効果的・効率的に運営されていると感ずる市民の割合」は、いずれの実績も、基準値H21年度を下回り、マイナスでした。

相次ぐ民間委託や市民負担増に、市民の評価はマイナスです。

市営駐車場・ホール業務・ゴミ収集など、様々な分野で民間委託が広

8月22日(金)・23日(土)、駐輪ビル8階会議室

*予算額は、2014年度当初予算



【22日(金)】

- ① 17:10~18:40 「東アジア戦略推進経費」4310万円
- ② 18:50~20:20 「こだわり熊本やさしい流通支援事業」300万円

【23日(土)】

- ① 10:00~11:30 「子ども医療費助成事業」17億8490万円
- ② 12:30~14:00 「高齢者の地域自立支援事業」9,435万8000円
- ③ 14:10~15:40 「学校・地域連携事業」239万2000円
- ④ 15:50~17:20 「道路歩行空間環境保全事業」4700万円

(電線共同溝整備、道路ふれあい美化ボランティア)

*各局が評価対象として選定した事業

「こだわり熊本やさしい流通支援事業」「道路ふれあい美化ボランティア制度」「学校・地域連携事業」の3つです。

*外部評価委員が評価対象として選定した事業

「高齢者の地域自立支援事業」・・・今後活用が進み、対象者が増加すればサービスが維持できるか検討が必要。

「子ども医療費助成」・・・周辺都市のレベルへの引き上げ、財政負担増との効果検討と、受益者負担の観点での検討が必要。

「東アジア戦略」・・・5000万円以上の経費の効果について議論が必要。上海事務所を市民は知らない。

「電線共同溝整備」・・・事業を市民が知らない。市民・利用者側からの議論が必要。

	基準値	実績	目標値
	(H21)	(H25)	(H25)
信頼できる市政と感ずる市民の割合	39.1	38.4	55
効果的・効率的に運営されていると感ずる市民の割合	24.2	19.9	50

市政のムダを削り、市民生活の向上につながる改革を!

民間委託や市民負担増を、市民は望んでいません。

一方、「桜町再開発・MICE 整備」には400億円もの税金がつぎ込まれようとしています。こんなムダづかいこそ削って、市民サービスの向上に努めるべきです。

ところが熊本市は、H27年度から、さらに小学校給食の民間委託まではじめようとしています。